

立沢里山

平成18年11月25日

里山新聞 第5号

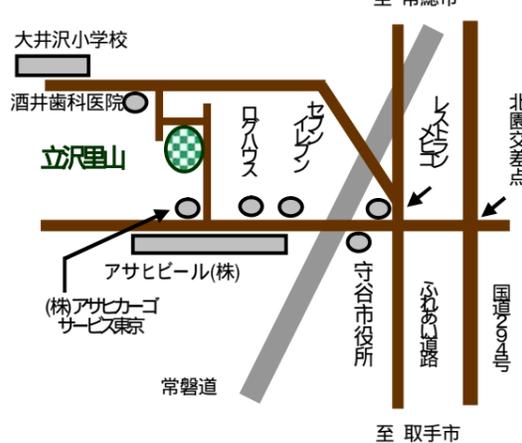
発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
 問い合わせ先：事務担当
 須賀（守谷市役所内 45-111 内線 222）
 立沢里山ホームページ
<http://www3.ocn.ne.jp/tatuzawa>

ボランティア募集
 あなたも一緒に楽しみましょう！

～目次～

- 1 全国田んぼの学校フォーラムに参加
- 2 里山環境学習サポート事業について
- 3 田んぼの片づけ、冬みず田んぼ
- 4 自然観察会：里山で校外学習
- 5 収穫祭：飯ごう炊飯

【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします
san-seino@hb.tp1.jp 清野

1 全国田んぼの学校フォーラムに参加

平成18年10月21日（土）栃木県宇都宮で開催された「全国田んぼの学校フォーラム」に参加してきました。

主催は農村環境整備センターで、今後の立沢里山の方向性を考える上でも参考になると考えました。

フォーラムは毎年一回各県持ち回りで、今回はたまたまお隣の栃木県、21日（土）22日（日）の両日に宇都宮大学と近郊の活動フィールドを会場に開催されました。

初日は宇都宮大学多目的ホールでフォーラム（講演、シンポジウム等）、二日目が現地研修という日程です。

今回は希望者を募ったところ5名が参加することになり、皆の都合を考えて初日だけ日帰りとし、ワゴン車の相乗りで行くことにしました。



守谷文化会館を10時半に集合出発し、12時過ぎに到着、会場は200名以上が集まりほぼ満杯の状態です。午後一時に開会しました。

基調講演は「農と自然の研究所」、宇根豊氏でテーマが「田んぼの学校にとりくむ理由」。現代社会や農業の変遷と現状の中で、子供達が農業を通して自然と触れあうことの意味について解りやすく話されました。

その後、開催県である地元栃木県の団体から活動内容の発表がありました。グランドワーク西鬼怒、メダカ里親の会、美土里ネット那須野ケ原、志鳥倶楽部、小山メダカの学校など、それぞれポイントを使ったり、お爺ちゃん、嫁さん、孫の三代での報告など工夫され多彩な内容でした。

参加団体からも4団体が発表することになり、「立沢里山の会」にも数日前に依頼がありました。我々は本年度の田んぼの学校企画コンテストの受賞地区ということもあり、全国にアピールする良い機会と考え、パンフレット配布し、5、6分ですが活動紹介のスピーチをしてきました。お隣の「古瀬の自然の会」も一緒でした。

全国各地の数多くの地区において我々と同様な取り組みがなされていることに感動し、また具体的な事例として取り組み内容を知ることが出来て参考になりました。

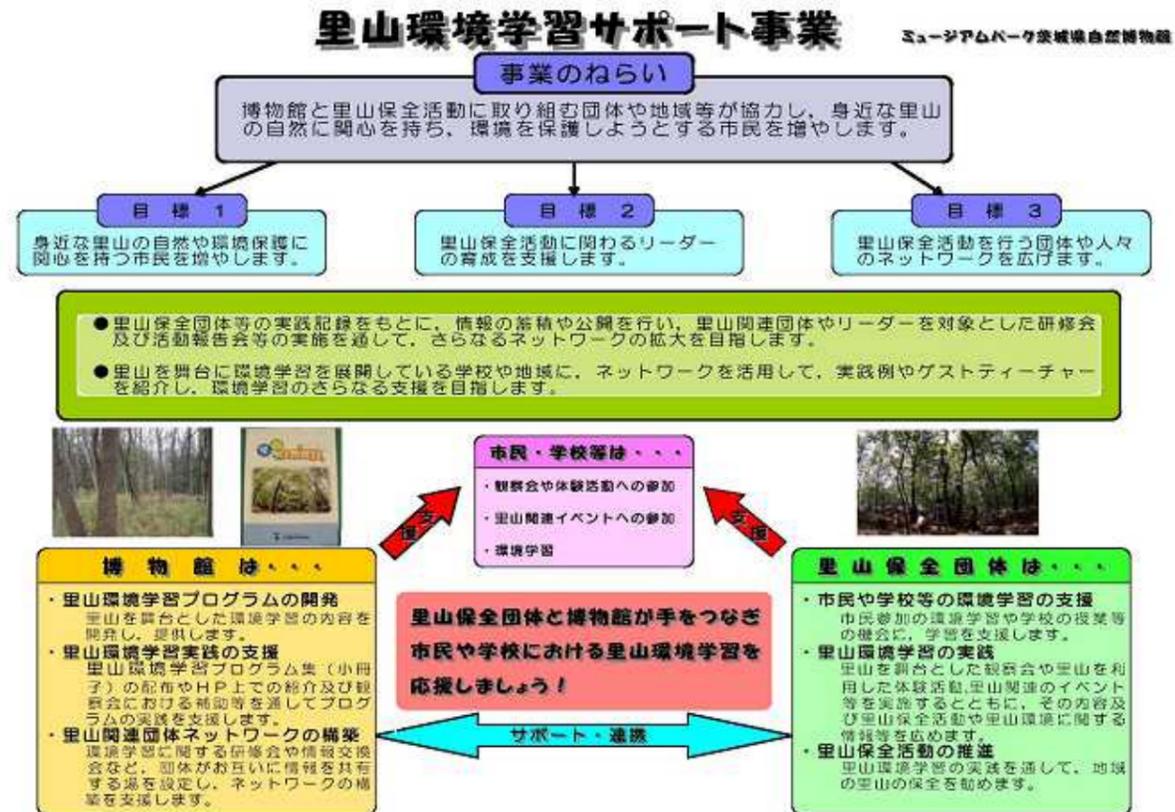
夕方帰途、せっかくだからということで各自宇都宮餃子を土産に買い求め、感動が冷めないうちに、さっそく守谷に帰ってから某所で呑みながら反省会をしっかりと行いました。

2 里山環境学習サポート事業について

板東市岩井にある「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」では県南部を中心として、各地で取り組まれている里山活動を支援するために、「里山環境学習サポート事業」を実施することになりました。

博物館には里山祭りで「移動博物館」展示など、今までも何かと協力していただいています。7月の例会でも同事業については紹介され、当会の取材にも見えています。

時々、自然講座などの案内が来ますので出来るだけ皆で参加しましょう。まずは勉強が肝心です。また、近隣の里山活動をしている団体と交流したり連携する機会にもなると思います。



3 田んぼの片づけ、冬みず田んぼ

稲刈り、脱穀も終わり、10月28日(土)午前中、田んぼの後片づけをしました。おだの片づけ、子供達が制作した案山子の解体整理、周辺の草刈り、木道の補修、ゴミ拾いなどの冬支度です。

今年は夏場に不耕起栽培した二枚の田んぼで冬期にも湛水する「冬みず田んぼ」を試験的に実施することにしました。その準備として、畦の補修、水路整備、取水口改修を行いました。また雑草防除を兼ねて米糠を散布しました。半年間、水中の生態、野鳥の飛来などを観察しようと思います。

(冬みず田んぼの湛水状況)



夕方から、今年の里山の会の活動も一段落したということで、慰労会を行いました。一年間の活動についてあれこれと楽しい話題に盛り上がりました。特に「里山まつり」は初めての取り組みで里山の会としても今後への大きなステップになったと思います。

タコノアシ



4 自然観察会：里山で校外学習

立沢里山での校外学習の一環として、11月17日(金) 大井沢小学校の(4年生)自然観察会が行われました。

当日は午前9時に現地集合し、里山の会員4人が案内役を務めました。参加者は小学生89人、先生や父兄を併せて100人くらいとなり、賑やかな里山の日となりました。

種が鳥、人などにくっついて運ばれる仕組み、タコノアシという希少種を見て名前の由来に納得したり、カツラの葉に実際に触ってみて匂いがあること、ドングリを食べてみたりなど、聞いて、観て、触って、食べてと自然と

の触れあいを体験しました。子供達はみんな初めての経験で驚きと感動の一日であったことが感想文にも生き生きと書かれていました。



5 収穫祭：飯ごう炊飯

11月22日(水)午前10時から松前台小学校において飯ごう炊飯が行われました。子供達が今年、立沢里山で田植えや稲刈りなど実際に自分たちの手で栽培した米を試食します。

里山の会にも招待があり、会員2人が参加しました。

グランド脇に机やイスを持ち出して会場を設営し、小学校5年生が6班に分かれ、それぞれ炊飯とみそ汁つくりを分担して調理します。

わいわいしながら、ようやくできあがると皆で昼食として楽しく食べました。

子供達一人一人が書いた稲作体験の感想文が文集として纏められ、里山の会に手渡されました。

米作りや農家の人の苦労がわかった。泥んこになったけど楽しかった。案山子作りは大変だったけど役に立て嬉しかった。自分たちでつくった米はおいしかった。里山の会への御礼等々の感想が実体験として書かれていました。

立派な感想文集をありがとうございました。

